

指導教員名	西村典芳
-------	------

活動区分	イベント企画型	連携先	自治体・国
	イベント支援・運営型		

～ 温泉街をめぐるスタンプラリープロジェクト”てくログin有馬” ～

活動の様子



有馬温泉フィールドワーク



有馬温泉フィールドワーク



ログスポット先の交渉

取り組む課題

てくログは、位置情報アプリケーション”ゲッターズ”を活用した。有馬の寺社仏閣や様々な魅力ある施設をログスポットとし、SNSに投稿することでポイントを得るデジタルスタンプラリーです。
このアプリの最大の特徴はただ巡るだけでなく特定のポイントで条件を達成すると大量のBPを得ることができます。このことは、行動力や体力に差がある方でも不利にならないようにできるのも特徴です。そこで、現地で食事やお買い物することで現地経済の活性化も狙うことができます。



大会当日の受付の様子

企画・活動概要

このプロジェクトは、「六甲有馬ヒルクライムフェスタ2022」の”賑わいイベント”として位置づけられています。
このスタンプラリーは、これまでのように主催者側から一定のコースを提示するのではなく、有馬における観光スポットだけではなく、地元商店街やレストランなどをチェックポイントとして提示し、参加者が自分の意志で選択して回遊していくスタイルになります。言い換えれば自転車イベントと観光イベントの融合です。



ログスポット先の交渉

本学(学生)の役割

イベントの企画・運営



日本観光経営学会・次世代観光経営フォーラムにて発表

経緯・背景・目的

六甲有馬ヒルクライムは、芦有ドライブウェイを通行止めにして早期に開催するため、早い時間に終了する。そこで、フェスタ終了まで有馬で滞在してもらい現地の回遊性を高めることができるイベントを行う事が求められた。また、有馬温泉の特徴の1つである歴史ある景観や、食べ歩きのみちとして発信していることも併せて周知できるようなイベントが望まれたため、デジタルスタンプラリー”てくログ”を実施した。



大会当日の様子

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

今後の課題としては、集客が上手くいかなかった。てくログの認知度を上げて、自治体等からの利用を促進することです。様々な自治体に活用してもらうことで、紙媒体に代わる観光案内の側面になるのではないかと。さらに、インバウンドでやって来る訪日外国人に対して発信することで地域の現地情報を提供したり様々な観光サイトを回ったりすることなく地域の観光情報を提供したりすることで効率的なプロモーションやシームレスな観光を提供することができることを学んだ。



日本観光経営学会・次世代観光経営フォーラムにて奨励賞受賞

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



神戸地域ビジョンフォーラムにて活動発表

人間社会学部
観光学科
教授
西村典芳(ニシムラノリヨシ)
＜専門・担当科目等＞
観光学原論、テーマパーク経営、リゾート論、イベントプロデュース論

<関係者・企業等>

六甲有馬ヒルクライムフェスタ実行委員会
神戸県民センター
壹坂邦子(ツボサカ クニコ)